

2022年 5月例会 ヘルスロードウォーク in 下妻

開催日： 2022年5月11日(水)
集合場所： 常総線下妻駅東口、集合時間： 8時30分～9時00分（電車遅れ9:15迄受付）
開会式： 9時15分～9時30分 終了後スタート
コース：下妻駅東口→多賀谷城址公園 →小貝川ふれあい公園（フラワーゾーン →対岸遊歩道
→自然観察ゾーン→ネイチャーセンター(昼食)）→大宝八幡宮 →下妻駅東口
ゴール時間： 14時00分、 距離： 16km、11km 団体歩行
参加者： 20名(会員17名) 天候： 晴れ

〈ウォーキング状況〉

茨城県は健康増進にチャレンジ出来るヘルスロードを整備(364 コース合計約 1227km)し、ウォーキング活動を支援中だ。例会の担当者はこれらを活用することによりコース作りが容易になるので各ウォーキング団体はその恩恵を享受している。今回の下妻市に於ける例会もそのひとつ。下妻市では 7 コースあり、5月中旬にポピーが咲きほころぶ小貝川ふれあい公園等3コースを取り入れた例会「ヘルスロードウォーク in 下妻」を企画した。

下妻市は東部に小貝川、西部に鬼怒川が流れ、中央部に砂沼がある。東部の市役所方向に向かって歩きはじめると、すぐ戦国時代に約 150 年間続いた多賀谷城(下妻城)の城跡公園に着く。唯一現存している石碑を見学して、小貝川ふれあい公園に向かった。フラワーゾーンのポピーはほぼ満開で、筑波山を背景に皆さん嬉々として写真を撮っていました。その後、祝橋を渡って対岸の遊歩道へ。新緑の河岸、爽やかな風、筑波山系の山々、更にこの遊歩道を歩くロリータ姿の深田恭子が演じる「下妻物語」のポスターロケ地でもあり、皆さん感慨深く歩いていったようだ。

小貝大橋を渡って遊歩道を暫く進むと、小貝川の豊かな自然林をそのまま残し、そこに生息するオオムラサキ等の生物を保護した自然観察ゾーンに迎えられる。国蝶オオムラサキ(写真)は幼虫時期なので見られなかったが、小貝川の岸辺が間近に迫る樹林地帯の散策を皆さん楽しんでいただけた印象。遊歩道は一部途切れたが、この公園の出发点ネイチャーセンターに戻って昼食。バスで下妻駅に帰る参加者とはここで別れ、他の皆様は関東最古の八幡様、大宝八幡宮をお参りして下妻駅にゴールしました。



ヘルスロードは茨城県が誇るウォーカーのための道標と同時に、歩く団体のコース設計担当者にとっても強力な助っ人だ。本会も実施した例会のコース地図等は公開し、皆様に利用して頂けることを願っているが、浸透するにはまだまだ時間がかかるだろう。何はともあれ、「ヘルスロードウォーク in ○○」のネーミングで各地の実績を積み、茨城の良さを再認識または発信していきたいと考えている。

(戸田)